

## 新型コロナウイルス感染症（京都市内における先週（9/20～26）の状況）

### ◆先週の特徴など

#### ○概況

先週（9/20～26）も引き続き集団感染が確認されたことから、新規感染者数は、先々週（9/13～19）から14人（50.0%）増の42人となりました。うち市立中学校で21人（教員3人、生徒16人、家族2人）、医療機関で8人（職員2人、入院患者等6人）の陽性が確認されています。

感染経路不明の新規感染者は10人（24%）と先週から減少（△4人、△28.6%）していますが、発症日別のデータでも途切れることなくほぼ連日確認されていることから、警戒は欠かせません。

本市では、この9月を「京都市コロナ感染防止徹底月間」として、市民の皆様と共に取組を進めてまいりましたが、おかげさまで、この間、飲食の場を契機とするクラスターは発生していません。皆様の御協力に感謝申し上げますとともに、これからのインフルエンザの流行期を前に、新型コロナウイルスの感染拡大防止に一層の取組をお願いします。

#### ○感染リスクを避けるには

全国でのGOTOトラベル事業の開始に当たって、国の新型コロナウイルス感染症対策分科会（9月25日開催）では、次のとおり、感染リスクを高める行動や場面の具体例が示されました。

##### ① 飲酒を伴う懇親会

##### ② 大人数や深夜に及ぶ飲食

：酔うと、大声を出しやすく、感染防止のガードも下がる。特に、狭い区画に、長時間、大人数が滞在することになると、感染リスクが高まる。

##### ③ 大人数やマスクなしでの会話

##### ④ 仕事後や休憩時間

：仕事でしっかりと感染対策がされていても、仕事の後や休憩時間に、更衣室でマスクなしでのおしゃべりなど、密な状況が生じると、感染リスクが高まる。

##### ⑤ 集団生活

：学生寮など、大人数が閉鎖空間に長時間一緒にいる場合には、感染リスクが高まる。

##### ⑥ 激しい呼吸を伴う運動

：換気の悪い閉鎖空間で人と人との距離が近く、激しい呼吸を伴う運動を行うと、感染リスクが高まる。

##### ⑦ 屋外での活動の前後

：屋外での活動の感染リスクは高くはないが、その前後の自動車での移動や食事などで密な状況が生じると、当然、感染リスクが高まる。

これまでに「三密」の感染リスクの高さは指摘されてきたところですが、④や⑦など、感染防止の取組のエアポケットにならないよう、改めて意識していく必要があります。

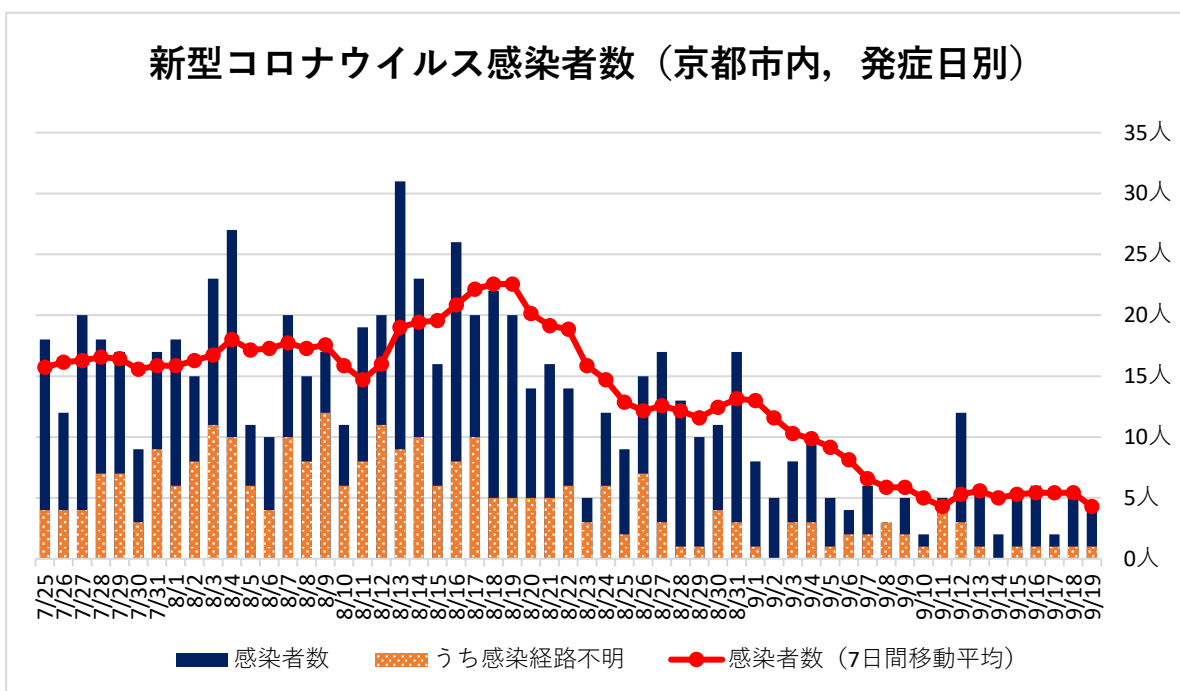
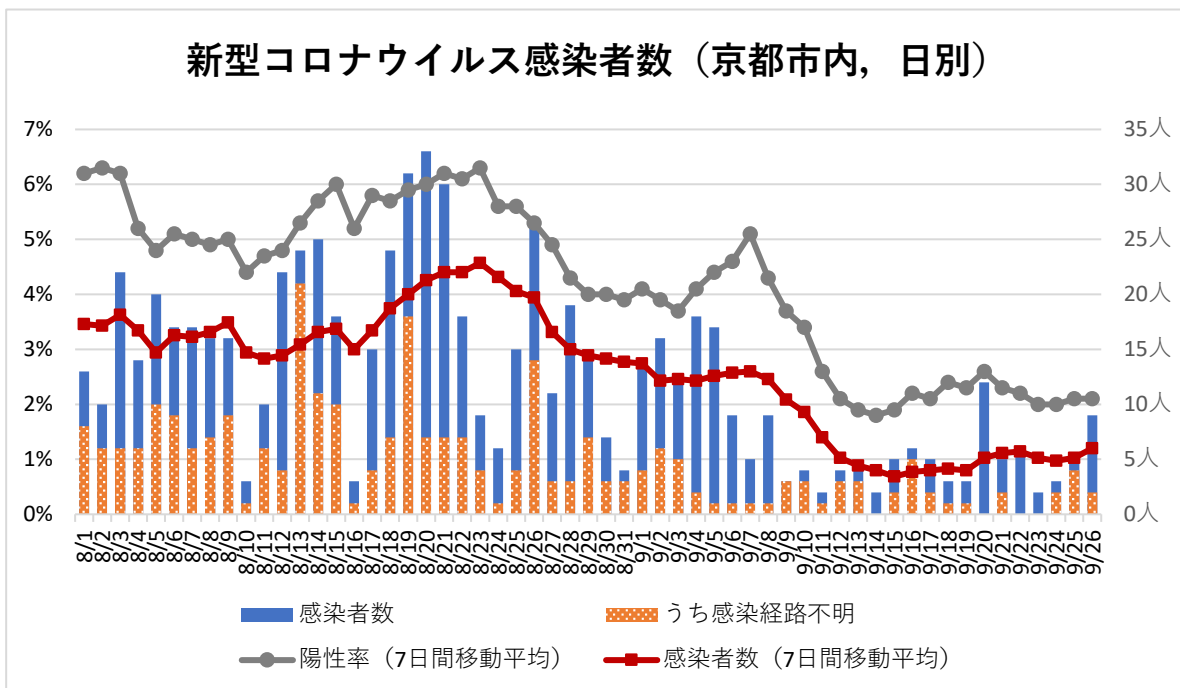
また、このような感染リスクの高い場面にウイルス量が多い発症直後の人が加わることで、一度に多数の人が感染するクラスターが発生してしまいます。今回の市立中学校における集団感染も、発症した教員が休まずに勤務し続けたことが引き金になったとみられています。

繰り返しになりますが、**発熱や咳、のどの痛みなどの風邪のような症状がある場合は、必ず自宅で療養するなど、感染リスクの高い場面を徹底的に避けるようにしてください。**

**しんどいと思ったその日こそ、自分だけでなく大切な人も感染から守るため、慎重な行動をお願いします。**

## ◆新規感染者数

先週の新規感染者数	42人 前週比+14人	1日当たり平均	6.00人 前週比+2人
感染経路判明	32人 (76%)	10万人当たり新規感染者数/週	2.87人
感染経路不明	10人 (24%)	PCR検査陽性率 (7日間移動平均)	2.1%



## ◆病床の状況

	9月20日	9月21日	9月22日	9月23日	9月24日	9月25日	9月26日
重症者病床使用率	1.2% (1人/86床)	1.2% (1人/86床)	1.2% (1人/86床)	1.2% (1人/86床)	1.2% (1人/86床)	1.2% (1人/86床)	2.3% (2人/86床)

- ・療養中患者数（9月26日現在） 80人（前週比+2人）
- 先週の新規感染者（42人）のうち、検体採取時に「無症状」の方は13人です。

## ◆感染者の年代

